

|| 企業調査レポート ||

## アルファパーチェス

7115 東証スタンダード市場

[企業情報はこちら >>>](#)

2025年5月16日(金)

執筆：アナリスト

山本泰三

FISCO Ltd. Analyst **Taizo Yamamoto**



FISCO Ltd.

<https://www.fisco.co.jp>

## アルファパーチェス：間接材購買 PF 新機能で粗利が大幅増、 2029年営業利益は35億円へ

設備・機械の修理用備品やオフィス備品などの間接材購買プラットフォーム「APMRO」を運営する MRO 事業と商業施設のメンテナンスなどを行う FM 事業を展開しているアルファパーチェス<7115>は5月14日、2025年12月期第1四半期決算を発表している。売上高は前年同期比6.3%増の14,418百万円、営業利益は同34.5%増の389百万円となり、利益面で好調な立ち上がりとなった（営業利益の通期予想に対する進捗率は28%）。

### 「無限カタログ」の推奨品への 自動置き換え機能による粗利益の増加が想定以上

#### 1. 2025年3月期第1四半期決算の概要

2024年12月期の売上高に対して、間接材購買のためのシステム提供と物品販売を行う MRO（Maintenance, Repair & Operations）事業の売上が約74%を占め、残りは FM 事業やその他が占める。MRO 事業の内訳は、製造業・建設業やサービス・小売業が多く、大企業直販が8割を上回ってきている。残りは中小事業所向け再販（アスクル経由の売上高）で構成される。プライム市場に上場している企業を中心とした大企業群が同社の顧客で、大企業直販の顧客解約率はほぼ0%のストック型ビジネスとなっている。MRO 事業は昨年末に新規導入した「無限カタログ（電子カタログ）」の推奨品への自動置き換え機能による粗利益の増加が想定以上となり、売上高で前期比11.2%増の11,519百万円、セグメント利益で同69.4%増の308百万円となった。無限カタログは、同一商品に複数の価格提示があり、コスト競争力が強いサプライヤーへ売上集中（サプライヤーの意欲向上）、サプライヤーの売上拡大による同社の粗利率改善が可能となる。一方、商業施設向けにサービスの提供を行う FM（Facility Management）事業は、インバウンド需要により顧客の業績こそ好調であるものの、好調な需要を背景に営業を止める必要がある改装工事を控える傾向があり、売上高で前期比9.3%減の2,895百万円、セグメント利益で同27.7%減の67百万円となった。

#### 2. 2025年12月期の業績見通し

2025年12月期は、売上高で前期比10.8%増の61,975百万円、営業利益で同13.5%増の1,410百万円が予想されている。MRO 事業では大企業向けが引き続き全体をけん引し、中小企業向けも底打ち基調が継続、FM 事業も後ろ倒しとなっていた大型案件が復調するなど増収率が加速という前提で、営業利益も2桁増となり、11期連続の増収が見込まれている。MRO 事業の大企業向けは、今期も顧客あたりの購入金額の増加と、新規顧客の増加を見込む。最適購買品推奨機能を付加され、「無限カタログ」と命名されたコアサービスである電子カタログは、新機能追加が顧客数の増加、粗利益率の増加に大きく寄与し始めている。

## 2029年12月期の目標は売上高1,000億円、営業利益率3.5%、ROE20%以上

### 3. 中期経営計画、類似企業との比較、株主還元

大企業向け MRO 市場の市場規模は約 1 兆円だが、既存の電子カタログで取引される領域（同社の既存事業領域）の市場規模は約 4,000 億円程度となる。同社は引き続き既存領域での成長を軸として市場シェアの拡大を図るようだ。ただ、電子カタログ掲載品で価格交渉が必要な領域や、電子カタログ非掲載で対面販売や入札型見積購買システムで取引される領域などにも将来的に対応できるように、「問合せ機能」を APMRO システムおよび無限カタログに追加搭載していく。強固な顧客基盤を有して今後も大企業グループへの売上拡大とともに認知度拡大が進むことで、持続的な成長が期待されそうだ。実際、大企業グループへの売上高は、年を追うごとに大きくなる傾向があり、機能の向上がその傾向に拍車をかけることになる。

また、厳密な意味での類似企業はないが、Monotaro <3064> の数値は確認しておいても良いだろう。Monotaro は ROE25% 超、今期予想の営業増益率で 2 桁が予想されており、予想 PER で 50 倍の評価だ。アルファパーチェスの ROE は 15% 強であるが、利益成長は 13.5% 増、予想 PER20 倍となる。ROE は劇的に向上するものでなく、同社においては地力を付けながらの上昇となろうが、2 桁増益の達成が続けば、PER 不変でも株価は上昇し得る。アズワン <7476>、ミスミグループ本社 <9962>、アスクル <2678> などと比較した PER も下限に近く、下値不安に乏しい。資本効率の改善は、さらなるアップサイドポテンシャルと考えておきたい。アルファパーチェスの 2029 年 12 月期の目標は、売上高 1,000 億円、営業利益率 3.5%、ROE20% 以上である。そこから試算される EPS は 250 円程度。営業利益の CAGR は +35% であり、現状程度の PER20 倍から試算される株価は 5,000 円となる。資本効率が高まった数値における PER 水準の切り上がりの有無にも注目しておきたい。

株主還元では、記念配当 5 円を含む 1 株あたり配当 35 円を予定しており、配当利回りで 1.75% が予想されている。

#### 重要事項（ディスクレマー）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けて作成されていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

#### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング事業本部）

メールアドレス：support@fisco.co.jp